一人言半生記①

山口県出身の竹中さん(70)にお話を伺った。～あてもなく彷徨う町の筵の上で星を眺める日々の中、名も知らぬ老夫婦の世話でうどんや菓子パンをご馳走になった。鉛筆削りが得意だから板前になった自分は京橋で職についた。山口県から京橋まで通勤したのか？少し遠い気もするが。まあ、いい。いや、その時は西成か。兄は大阪にいた。母もいたような気がする。姉もいたのか？父はどこにいる？広島にいたのか？自分は酒は飲まないがタバコは吸う。で、入院したこともある。どこの病院だ？余談だがカラオケが苦手だ。幼少の頃は故郷で畑仕事を手伝っていた。西成に来て施設も転々とした。天六の施設な気もするが？どこにいたのか？で、ズボンの裾上げやボタンの縫い付けも自分でする。で、老夫婦にお世話になるような気がして高度経済成長真っ只中の昭和39年頃に西成に来た。筵の上で星を眺めていると、京橋で板前だった気もするし、畑仕事を手伝っていた気もする。広島か？山口か？どこにいた？もう何が何だか。～散らばった記憶の欠片を拾い集めながら語る竹中さんは、子供の頃から虚言癖があるんやと自嘲的に笑った。

求人広告

新聞記者　西成なるへそ
男女問はず・経験不問
山王一の五の三一 新福寿荘内
ブレーカープロジェクト
(電話)〇七〇・五〇四六・八六六七

ガチャポンから骨壺まで

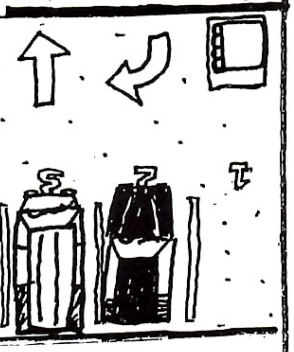
～副業を大成功～

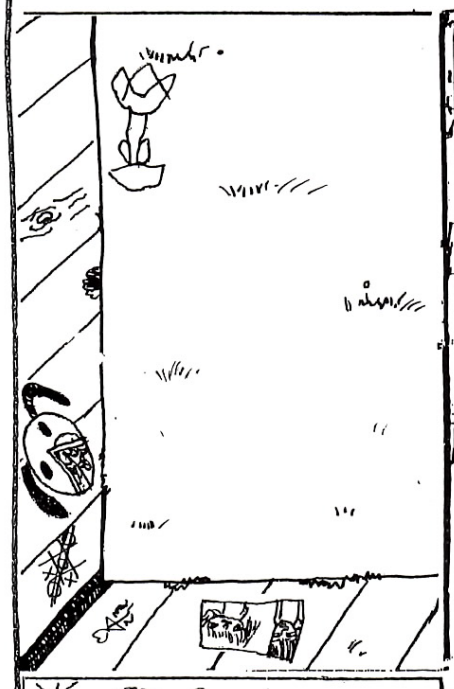
万博で賑わう大阪では、職人さん達を陰ながら支えている手荷物預かり所が今日も大盛況だ。朝六時から職人さん達は、手荷物とはいえほぼ全財産を預け、安心してそれぞれの仕事場に出て行く。しかし中にはバクチにはまり大工道具や骨壺まで預けたままにする客もいて頭を悩ますところだが、新しく始めた副業の方が好調で気にする暇もない。その副業というのが、子供達に大人気のガチャポンで、大阪一円で約百ものお店の軒先に四百台程を設置している。ウルトラマンや「おかあさんといっしょ」のキャラクターが人気で日々商品補充や入れ替えで大忙しだ。労働者から子供達にまで喜んでもらって嬉しい悲鳴をあげている。

一年生車中泊

西成～札幌

「はやく西成に帰りたい」。東京の大学を卒業し、晴れて社会人になった白木聡さん。将来は実家の質屋を継ぐため、大阪勤務だからと某〇A機器メーカーに就職したが、なぜか札幌勤務を言い渡された。この冬は朝から家と事務所の雪かきに追われながら、車で札幌近郊の代理店を飛び回る毎日だ。このあいだ、ついに大雪で道路が通行止めになり帰れなくなってしまった。地元の人たちのアドバイスを守り、ウィスキー、ビスケット、毛布とジャンパーを車に積んでいたおかげで、一晩の車中泊をなんとかしのげた。白木さんは子供の頃、阪堺平野線に乗って三十分かけて阿倍野区の常盤小学校に通っていた。全校生徒五千人のマンモス校で、集団下校の日は校区組と越境組に分けて集められ下校したという。社会人一年生の大阪から札幌への「越境」は、白木さんに新たな試練をあたえている。





創造活動拠点
新福寿荘
若手のアーティストやクリエイターの入居者募集中。
詳しくは Breaker Project ☎ 070-5046-8667

珈琲館
白木屋
萩え茶屋2丁目3番8号

アートスペース ジュージー
#13
山王1-5-31
新福寿荘内